

会 議 記 録				
会 議 の 名 称		広報広聴会議		会議場所 第3委員会室 担当職員 鈴木 智
日 時		令和元年11月25日(月曜日)		開 議 午後 3時 30 分 閉 議 午後 3時 59 分
出席委員		◎小川 ○三上(広報部会長) ○赤坂(広聴部会長) 富谷 大塚 並河 木村 松山 奥野		
事務局 出席者		井上次長、船越副課長、鈴木議事調査係長、山末主査、山内主事		
傍聴	可	市民0名	報道関係者 0名	議員 0名(-)

会 議 の 概 要

15:30

[小川委員長 開議]

・先日の西別院町自治会でのわがまちトーク（自治会版）において、参加者からいただいた意見をしっかりと取りまとめ、各委員会につなげていきたい。

1 広報部会活動

(1) 議会だよりについて

○No.183の編集

[三上副委員長 説明]

- ・議会だよりNo.183は、1月31日発行、2月3日全戸配布予定である。
- ・議会だよりNo.182の決算特集については、従来の内容を変えて掲載した。市民からの感想を聞いておられれば、ここで伝えていただきたい。また、議会だよりNo.183の特集については、市民との双方向の意見交換ができるページにしていきたいと考えている。意見があれば聞きたい。

<赤坂副委員長>

市民から、クロスワードのような楽しめる記事があればよいという意見を聞いた。また、いろいろな場所に議会だよりを置いてほしいということも聞いた。PR活動に力を入れていただきたい。

<三上副委員長>

貴重な意見であり、検討していきたい。ページ数の制約がある中で苦勞しているが、クイズを掲載するようなことを考えられればと思う。議会だよりを置く場所については、議会全体に関わることでもあり、相談していきたい。ずっと置き続けていただけのようなものをつくってきたい。

<小川委員長>

公共施設以外への議会だよりの配布はどうなっているのか。

<議事調査係長>

市内の西友、イオン、スーパーマツモト荒塚店、JR亀岡駅、JR並河駅の5カ所に置いている。

<小川委員長>

最後まで残っているのか。

<議事調査係長>

3カ月後にはまったく残っていない。先日、配布して約1週間経過した後に、スーパーマツモトに見に行ったときには、まだ少し残っていた。

<小川委員長>

各自治会に配布している議会だよりは、すべてなくなるのか。

<赤坂副委員長>

自治会によっては、たくさん置いているだけで、あまり取られていない所もある。余っているのであれば、読んでもらえる場所に持っていく方がよいのではないか。

<議事調査係長>

全戸配布については、担当している総務課が、各自治会に何部ずつ配布するかを記載した一覧表を作成している。議会事務局は、それに基づき業者を通して配布しているので、議会だよりだけ部数を減らすのは難しいと考える。また、自治会での配置の仕方は、それぞれの自治会に委ねられているので、この点も踏まえていただきたい。

<三上副委員長>

各自治会に、議会だよりの置き方までは指定できないが、「議会だよりです。ご自由にお取りください。」というようなことを書いた専用の箱を置いてもよいのではないかと考える。目立たせて、手に取ってもらえるような工夫はできると思うので、その方法を考えていきたい。

<富谷委員>

今回のコウノトリの表紙は、前回から大きく変わった。表紙のインパクトは大きいと感じた。写真やイラストがある方が見やすいので、工夫することが大事だと思う。

<並河委員>

表紙を開いたページに議員の写真が載っていれば、見てもらえることもあると思う。今回は議会だよりを読んだという声をたくさん聞いた。

2 広聴部会活動

[赤坂副委員長 説明]

(1) わがまちトークについて

・次回のわがまちトーク(自治会版)は、千代川町自治会において、来年の2月8日、午後7時30分から開催する。今回のわがまちトークは、産業建設常任委員会のみの内容であったので、他の常任委員会の内容も出してもらえるようにしていきたい。

(2) 中学生議会について

・中学生議会の開催について、議会運営委員会で諮るようにしていきたい。中学生はスケジュールが厳しいので、調整しづらいということを聞いている。このため、小学生を対象とした子ども議会も含めて、考えるようにしていきたい。

<小川委員長>

わがまちトークについては、12月初旬に私と赤坂副委員長で千代川町自治会へ調整に行く。中学生議会については、若い人たちと意見交換したいという思いがあるため実施したいと考える。しかし、中学生は部活や学校行事があるので、学校関係者に調整に行きたいと考えている。

<松山委員>

今回、はじめてわがまちトークに参加した。参加者の前に議員が座っており、住民説明会のような硬い感じがした。シビアな課題もあったが、皆で解決していくという雰囲気をつくるうえでも、イスやテーブルの配置を見直していく必要があると感じた。

<赤坂副委員長>

何も話さない参加者もおられた。もっとコミュニケーションをとれたらと思う。人数やキャパシティも考えながら実施できるようにしていきたい。

<小川委員長>

地域によっては口の字型にしているところもある。次回実施する時には、議会から配置のアドバイスをできればと思う。

<大塚委員>

はじめて参加して大変勉強になった。産業建設常任委員会の所管事項がメインであったが、千代川町自治会で実施する時は、他のテーマもあればもっと活気が出てよくなると思う。

<三上副委員長>

3常任委員会すべての所管の話を必ずできるものでもない。手法に不満はなく、よく勉強になったと思っている。誰もが話をできるように、テーマを決めて、いくつかの小さなグループをつくり、まちをよくするために考えて話し合うようにしていけばよいのではないか。ファシリテーターを置いて、進行している議会もふえてきているようである。

<小川委員長>

次回のわがまちトークに際しては、千代川町自治会と事前に話をしていきたい。議会として地域の情報共有をしていただいたと思う。また、中学生議会については、来年度実施できるように、議会運営委員会で調整していきたい。

次回の広報広聴会議は、12月9日（月）午前10時に開催する。

3 その他 (なし)

散会 15:59